

様式1 令和5年度 山梨県立山梨高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	校訓「至誠無息」をあらゆる生活の中での心得として、常に目標や理想を高く掲げ、真摯に生きる生徒の育成
-----------	---

山梨県立山梨高等学校校長 清水 規与美

本年度の重点目標	I 学びの本質に迫り、自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成
	II 誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成
	III 生命や人権を尊重し、心身ともにたくましい生徒の育成
	IV 地域や保護者に信頼される学校づくり

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			
本年度の重点目標		年度末評価(2月14日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成を目指す、個別最適な学びと協働的な学びの充実	①ICTの活用等による個に応じた指導の充実	学校評価アンケート、授業アンケート
		②学習意欲を高め、予習、授業、復習を軸とした学習習慣の確立につながる学習評価の実践	学校評価アンケート、授業アンケート、定期試験
		③生徒同士や多様な他者との協働による、より良い学びの生成のための探究的な学習活動の充実	TS事後アンケート、ポートフォリオ作成状況
2	誇りと気概を持ち、多様化する価値観を受け入れながら自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成	①朝読書や学校図書館等の積極的な利活用による読書活動の充実	朝の読書アンケート、図書館利用・貸出状況の調査
		②自己有用感・自己効力感を育む多様な体験活動の推進	ボランティア活動状況及びTS事後アンケート
		③主権者として意欲的に社会参画する力を醸成するためのクロスカリキュラムの推進	学校評価アンケート、授業アンケート
3	新しい生活様式を踏まえたなかで、生命や人権を尊重し、心身共にたくましい生徒の育成	①感染症対策を前提とした健康で活力ある生活を送る土台となる基本的な生活習慣の確立	学校評価アンケート
		②他者と協働してより良いものを創り上げる生徒会活動・部活動の推進	学校評価アンケート、生徒会誌による活動状況の検証
		③命を守る「自助・共助」の行動につなげる安全・防災教育の推進	学校評価アンケート、行事の検証
4	地域や保護者に信頼される学校づくりの推進	①ホームページ等を利用した定期的な情報発信や学校訪問等による広報活動の充実	学校評価アンケート、広報物の検証、オープンスクールへの参加状況
		②地域の行事やボランティア活動への積極的な参加	ボランティア活動状況、学校評価アンケート
		③教員の働き方改革の取組として、外部人材の活用による校務の精選・効率化	外部人材活用実績、学校評価アンケート

学校関係者評価	
実施日(令和6年2月16日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の方との協働的な活動はとても良いと思います。「総合的な探究の時間」はとても良い活動だと思う。更に充実されていくことを期待しています。 ・来年度も今年度の目標を進め、生徒からの意見をたくさん取り入れた授業展開を図る。 ・ICTの活用については、学習目的に留まらず、社会生活を見据えた活用が求められる。外部の方との協働がなぜ必要かをより生徒に理解させていくことが必要だと思う。 ・まずは、先生方の活力を大事にして欲しい。生徒たちは先生方をよく見えています。先生も楽しいと思える授業を考えてみてはと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みがとてもよいと思います。すぐには結果は出ないと思いますが、少しずつでも良い方向へ向かっていると思います。 ・図書館利用者も増加し、とても良いことだと思う。本から知識を得て、3年間の学校生活で生徒が人への思いやりや優しい心を育める指導へつなげてほしい。 ・図書館利用者が増加しているのは学校の取り組みの成果であり、今後も読書の効果を実感させる取り組みを工夫したい。 ・ボランティア活動は、自分自身を見つめる上でも、大切である。 ・「ボランティア」をより多くの人たちに理解を求めていくことは本当に難しいことである。 ・主権者教育がどのように自分たちの未来にリンクしていくかを実感させたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのおかれている状況を的確にとらえ適応していくことができるのは生徒が成長している証だと思う。 ・地域との交流を進めていくことは、生徒が社会人になった時に必要な資質を養うのに大変良い。 ・コロナ禍を経験した生徒が受けているマイナス意識をできるだけ早く取り除いてあげたい。 ・高校生だからできる地域貢献を積極的に進めたい。 ・今後も「防災教育」はますます必要かと思う。ぜひ、今の取り組みを続けてほしい。 ・規則正しい生活は体の事を考えればすごく大事なことです。大人もその時代には同じことを言われていました。自分の体は自分で大切にするという方向へ導けると良いと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が登下校で挨拶する姿をよく見かけ、とても気持ちが良い。これからも指導を続けてほしい。 ・ホームページはとても充実した内容だと思う。 ・今後も今の取り組みを頑張って続けていただければと思う。 ・広報活動は競争の激しい高校にとっては特に重要だと思う。 ・一方的な発信だけでなく、双方向のやり取りは今後さらに必要になると思う。外部人材は特に保護者の関わりをより深くしていくことが学校運営上必要になってくると思う。 ・ただ発信するだけではなく、想いを載せるが良いと思います。 ・生徒と先生の信頼関係を大事にしてほしい。